

【豊田市立巴ヶ丘小学校】子どもたちに情報モラルを身に付けさせるための実践「情報モラル教育強調週間を設けて」

本校では、昨年度10月と2月の2回、情報モラル強調週間を設けて全校で道徳の授業を行った。教材は「事例で学ぶ Net モラル」（広島県教科書図書販売株式会社）を使い、それぞれの学年に応じた内容を担任が選定し、実施した。

低学年では、「ゲームのやりすぎに注意しよう」「友達の作品には落書きしない」ことを映像で学んだ。キーシーンの絵を黒板に貼って場面の様子を理解させたり、ワークシートに自分の考えを書かせたりする活動を通して、低学年にもわかりやすく学ばせることができ、家での生活を振り返ることができた。

中学年では、「ゲームに熱中するとどんな影響があるのか」「不適切なホームページに出会ったらどうするか」を考えさせた。ゲームについては自分の身近な問題なので、子どもたちの反応が大変よかった。家庭でのゲームの仕方について改善をしようとする気持ちをもつことができた子もいる。また、不適切なホームページに出会った時の対処法を学んだが、家庭によってホームページを見る機会に差があり、学習内容のとらえに差が出た。

高学年では、「個人情報について」「ネットショッピングについて」を学んだ。携帯電話を所持している子は意外に少なかったが、個人情報を書き込ませるような内容のメールが届いたという子もいて、この時期に学習をしてよかったと感じた。また、ネットショッピングをしている子は、予想外に多くいたので、子どもたちの実情に合った指導をすることができたと思う。

今年度も6月と2月に予定をしており、学校公開日など保護者が参観しているときにも学習する機会を設けようと考えている。



—フリップや映像を使って指導—



—携帯電話を前にして考える子どもたち—